



8月29日、厚生労働省が財務省に対し、来年度予算の概算要求を行った。その中には、新規事業として「重喫煙者に対する低線量CTによる肺がん検診実証事業（要求額1・3億円）」が盛り込まれている。取り組む市区町村を公募し、費用の補助などを行うものである。

対策型検診としてのがん検診

肺がん検診で新規実証事業へ

がん検診は、法律に基づき市町村が実施する「対策型検診（住民検診型）」と、それ以外の「任意型検診（人間ドック型）」に大別される。公共政策として

【診療】との大きな違いである。厚労省は「科学的根拠に基づいた検診」を掲げ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を定めている。現在、国が推奨するがん検診は、▼胃がん（胃部エック

(学)

学術講演会（循環器シリーズ）

日時：10月16日（木）午後2時～3時
受講形式：会場受講（大阪府医師会館2階ホール）、ウェブ受講（Zoom）
主催：大阪府医師会医学会
取得単位：府医生涯研修システム登録研修1単位（CC：45）
内容：講演「超高齢社会の循環器診療：聴診で救える余生がある」阿部幸雄氏（大阪市立総合医療センター循環器内科部長）
申し込み：会場受講は申し込み不要。ウェブ受講を希望の方は右記二次元コードまたは府医ホームページより申し込む。10月2日締め切り。受講料は無料。詳細は府医学術課（☎06-6763-7006）まで。



日医認定 産業医研修会

日本産業衛生学会近畿地方会第30回近畿産業医部会研修会
日時：10月25日（土）午後2時～4時40分
会場：国民會館大阪城ビル12階大ホール（大阪市中央区大手前2-1-2）
対象：日医認定産業医（未認定医は対象外）
取得単位：生涯（専門）2.5単位
内容：下記ホームページを参照
申し込み：日本産業衛生学会近畿地方会ホームページ内「産業医部会研修会のお知らせ」ページ(https://jsohkinki.smoosy.atlas.jp/ja/occupational_medicine)の申し込みフォームから申し込む。定員は150人(先着順)で、受講可否は申し込み時のメールアドレス宛連絡。受講料は参加区分により異なるため申し込みフォームで確認されたい。詳細は「第30回近畿産業医部会研修会」担当（Eメール:noboru-n@biz-m.con）まで。



特定健診の受診勧奨に係る研修会

日時：10月31日（金）午後2時～3時30分
受講形式：会場受講（大阪府医師会館7階71会議室）、ウェブ受講（Zoom）
主催：大阪府医師会（大阪市委託事業）
対象：大阪市内医師会の会員
内容：講演①「健やかな大阪を目指して：かかりつけ医だからできる、特定健診と保健指導のススメ」福田正博氏（大阪府内科医会名誉会長／ふくだ内科クリニック院長）、②「大阪市特定健康診査受診率向上の取組について」大阪市、③「大阪市『特定健診受診率向上のための受診勧奨業務について』澤井貞子・府医理事
申し込み：会場受講を希望の方は「特定健診の受診勧奨に係る研修会受講希望」と明記し、①氏名（ふりがな）、②所属郡市区等医師会、③医療機関名、④医療機関所在地、⑤医籍登録番号、⑥連絡先電話・FAX番号——を記入の上、府医健診事業課宛FAX（06-6766-2875）。ウェブ受講を希望の方は右記二次元コードまたは府医ホームページ（トップページ＞医師・医療関係者のみなさまへ＞研修会のご案内）内の申し込みフォームより必要事項を入力して申し込む。10月27日締め切り。受講料は無料。詳細は同課（☎06-6763-7568）まで。



令和7年度 障害者総合支援制度と医師意見書に関する説明会

日時：11月27日（木）午後2時～4時
受講形式：会場受講（大阪府医師会館7階71会議室）、ウェブ受講（Zoom）
対象：府医会員および会員医療機関従事者
取得単位：府医生涯研修システム登録研修2単位（CC：6、9）
内容：講演①「障害者総合支援制度における障害支援区分と医師意見書について」（大阪府福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課）、②「医師意見書書き方のポイント」李利彦氏（李クリニック院長／大阪精神科診療所協会副会長／府医介護・高齢者福祉委員会委員）
申し込み：ウェブ受講を希望の方は下記二次元コードより申し込む。会場受講を希望の方は「令和7年度障害者総合支援制度と医師意見書に関する説明会（11月27日）受講希望」と明記し、①氏名（ふりがな）、②医療機関所在地、③医療機関名、④所属郡市区等医師会、⑤医籍登録番号、⑥連絡先電話・FAX番号——を記入の上、府医介護福祉課宛FAX（06-6765-3737）。11月20日締め切り。受講料は無料。詳細は同課（☎06-6763-7002）まで。



また万博にやって来た

も達がいるのでゆっくりし、大半の時間は走り回見られず、ほぼ素通りに3カ月の間にも成長を感じ、娘一家がまた万博に行くために5歳と4歳を連れてやって来ました。前回、6月にやって来た時のことは、7月2日（第3113号）の本欄に書きました。今回は1日中雨でしたが、今回は9月に入っても猛暑で、加えていっそう混雑している万博です。翌朝、4歳が「バンパクに行つて来ます！」と玄関で宣言して一家で出かけて行きました。子ども達が行列で待てなくなったり、せっかく入れたパビリオンも子ども達が極めて低調（今年6月時点でわずかに4）なことの反省からプロセスを見直し、一部自治体による試行的なモデル事業を経て、最終的に導入の是非を検討する方針を打ち出していた。円滑で確実な実施のためには、現場にのてのハードルの高さも、重要な要素となる。

(壇)